

令和7年 第3回 定例会

一般質問通告書

R7年 8月 20日提出

加須市議会議長 関口 孝夫 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

議席番号 7番 氏名 栗原智之

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	在宅医療介護連携推進事業の取組について	全国的にも人口減少に伴う外来患者数減少となる反面、高齢者増による在宅医療患者数の増加との厚労省の報告がありますが、市が委託している在宅医療連携室の現状について伺います。	福祉部長
	① 若年者に対する支援	若年性ターミナルケアにおいて、患者や家族が本市の制度を活用するための相談窓口について伺います。また、終末期医療を目的とする在宅医療へ移行した40歳未満の患者数について伺います。	健康スポーツ部長
		本市の若年者在宅ターミナルケア支援助成金事業において、既存の介護サービス等では対応できないことも伺っており、さらに拡充し介護サービス全般を支援内容とする考えについて伺います。また、事業への申請は本人となりますが、本人および家族により申請が難しい場合もあり、主治医等による第三者による申請について伺います。	健康スポーツ部長
		がんの進行が早い場合、申請等の手続きは迅速に行うべきですが、実情、介護サービスの申請手続きについて、本人確認が非常に煩雑で、主治医意見書の結果が出るまでに時間を要し、介護認定審査会の結果を待たずに亡くなることもあると伺っております。申請手続きや介護認定審査会を迅速に行うための改善策について伺います。	福祉部長

令和7年 第3回 定例会

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		育児・就労・子育て・家族関係など、ライフステージに応じた様々な支援が必要です。例えば、子育て世代の親が対象となるケースでは、子どもの食事づくり等家事のサポートが不足しており、介護サービスとして提供することが難しい現状です。このようなヤングケアラー支援について伺います。	こども局長
	② 重症心身障害児（者）家族のレスパイトケア	日常的に医療的ケアが必要な重症心身障害児（者）の家族のレスパイトケアにおいて、本市の支援について伺います。	福祉部長
		他行政では、自宅等に看護師を派遣し、一定時間の医療的ケア及び療養上の介助を行い、家族等の介護負担を軽減する事業を開催しておりますが、本市においても在宅レスパイト支援を行う考えがあるのか伺います。	福祉部長
	③ 共通課題 相談窓口	地域包括支援センターによる介護等の相談窓口を設けておりますが、在宅医療患者やその家族が複数の部署や機関に問い合わせることが多く、最終的に、直接、在宅医療機関への問い合わせされることもあるため、医療や介護の困りごとを一括で相談できるような包括的な相談窓口の設置について伺います。	福祉部長
	④ 財政的な課題および今後の医療課題への取組	生活困窮世帯において、患者や家族が支払いに困窮し、サービスを限定したり、死後の保険金を充てることを考えるといった切迫した状況があると伺っております。患者や家族の精神的な支えとなる、また、医療機関の負担も軽減できる本市の支援策について伺います。	福祉部長
		今後の在宅医療を維持する上で、医療過疎である本市において、医師の確保にかかる人件費や、集落や民家が点在する地域であるため、移動に必要なガソリン代などの支援について伺います。	健康スポーツ 部長

令和7年 第3回 定例会

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		業務内容に対し、低賃金といわれる介護従事者ですが、今後、在宅医療ならびに介護需要の増加に伴い介護人材確保が課題となります。国のベースアップを待たず、市独自の人材確保のための支援策について伺います。	福祉部長
		国の資料からも分かるとおり、在宅医療の需要増加が見込めるため、在宅医療介護に関わる人材確保と体制つくりについて伺います。また、開業医の高齢化問題への対応策など、地域医療課題解決に向けた市の考えについて伺います。	市長